

躍動する声の輝き

バリトン歌手 加来徹さんの魅力



2018年、逗子文化プラザのコンサートで、ゲストとして登場した加来さんの歌を初めて聴きました。加来さんの美声が逗子文化プラザホールいっぱいに響いたときには、思わず鳥肌が立ちました。加来さんの魅力は为什么呢。以下に掲載した2024年6月2日実施の教育会館ふれあいコンサート「加来徹バリトンリサイタル」の感想からも分かります。

- ☆プログラム、唱って欲しい歌、聴きたかった曲が全部入っていました。「牛士の歌」「セレナーデ」言うことなしです。そして「初恋」から「貴種流離譚」までの「旧～新」の日本の歌、心に沁みました。
- ☆アットホームな雰囲気の中で、加来さんのトークも交えた、素晴らしいコンサートでした。加来さんのお人柄も感じられて、遠く高い存在だった方が身近になりました。
- ☆加来徹さんの豊かで美しい響き、質の高い音楽性に大変感動いたしました。選曲も変化にとんでおり、レパートリーの幅広さ、音楽に真摯に向き合っておられる姿もステキだと感じます。みごとな歌声でした！ピアニストとの息もばっちり合っていて、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。

加来さんとは、2019年以来、メールなどで何度も交流をさせていただきました。コロナ禍のためコンサート断念の連絡をしたときには、「モチベーションは失わずに、常にスキルアップをめざしていきたいと思っておりま

す」と、了解をいただきました。コロナ禍でもスキルアップのため日々の努力を続けたのでしょう。ときに、「題名のない音楽会」などテレビに出演する姿に接し、実力派として聴く者を魅了する様子が伝わってきました。加来さんからは、高い演奏技術と表現力、豊かな感性、温かい人柄、何よりも音楽への情熱が感じられました。

6月1日、「加来徹バリトン・リサイタル」を開催します。1曲目が多くの人に愛されているシューベルトの名曲セレナーデ、美しい曲が始まると心が洗われ、加来さんの躍動する透明感あふれる美声、豊かな人柄に接し感動を共有していただければ幸いです。



「第95回教育会館ふれあいコンサート」2024.6.2